

創造・鍛練・友愛

令和2年11月22日(小雪)
竜北中学校だより
文責 校長 西村敏昭

夢の実現(創造)へ自ら挑み(鍛練)ともに磨き合う(友愛) 竜中生
～故郷(ふるさと)を愛し、地域での学びを輝く未来へ発信～

2学期も残り1月余り！学びの成果を「研究発表会」「県学力検査」で発揮！

11月13、14日は、学習発表会を行いました。体育館に皆が集うことはできませんので、学級で放送を聞いたり、TV映像での学び合いをすることができました。14日午後は、体育館で保護者にも時間を切って映像で公開しました。実物とは、大きな差がありましたが、たくさんの方が観覧して頂き、とてもありがたかったです。3年生も規模縮小ですが起業家体験をするなど、短い時間で頑張ってくれました。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。27日(金)には「学力充実に向けた研究発表会(町内の職員で開催)」そして、12月には学習の成果を試す「熊本県学力調査」があります。新型コロナウイルス感染症への警戒も深めながら、令和2年の充実したまとめを行います。

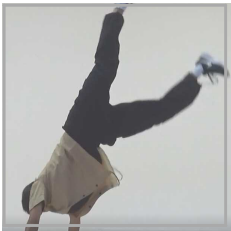
シェイクアウト訓練！いざというときの備え！

11月5日は「津波防災の日」にちなみ、毎年、地震等に対する「初動対応」の訓練を行う、いわゆるシェイクアウト訓練がありました。地震の速報にあわせて素早く身を守る行動を行うこの訓練は、繰り返し行うことで「とっさの行動」を反射的に身につけ、身の安全の確保につながるとともに、日頃の防災への意識を高めるものとされています。どんな危険が考えられるのか、常にまた素早く、予知、察知して行動することが命を守る事につながります！



個性(color) がキラリ！

映像発表で行った今年の学習発表会では、特技の発表を募集したところと、2年生山田桜子さん、3年生坂田幸基君が日頃のダンスの練習の成果を発表してくれました。美術の授業の作品で、デザインや毛筆(水墨?)画など、多種に多数、展示されていました。それぞれの生徒の個性や意欲、得意な面が現れていました。ダンスを披露してくれた二人には特に感謝します。ありがとう。また、他にも家庭や地域で頑張っていることがある皆さん、これからも自分の良さを輝かせて欲しいと思います。



学力充実に向け！

2学期末試験、実施！

前号で3年生の共通テストをお知らせしましたが、今週末は全学年、期末テストを実施しました。6月からの新学期で、学習内容等も例年通りの進度に戻り、やっと積み重ねた実感が感じられます。今の学力は、一朝一夕で身についたものではなく、数週間、数ヶ月前から取り組んだものが発揮されています。結果に一喜一憂することなく、振り返りをしっかり行い、次につなげたいものです！



11月27日(金) 竜北中研究発表会！

新型コロナウイルス感染症防止のため、今年は町内各学校から10名の先生方の参加と、氷川町教育委員会のご指導を頂きながら、実施します。

来年の新しい学習指導要領の全面実施に向けて、また竜北中学校の子どもたちの学力向上に向けて職員で協力して進めてきました。「数学」「英語」「特別支援教育」の3つの公開授業を通して、「ICT活用」「ひ・か・わ」型学習を核に授業改善を図り、キャリア教育や認知機能トレーニング等にも工夫して取り組みました。熊本県教育委員会から3名の指導主事にもご指導を頂けます。氷川町の子どもたちのさらなる学力向上に資することができれば、と考えています。(写真は英語科の事前授業の様子です。)



「命・健康」を守りながら、氷川町と関わり、支えて頂いています！

「CSや地域の活動が、生徒の自尊心・郷土愛、夢を育てます！」

竜北中学校区拡大CS「CSの日 オータム交竜会」大成功！



14日(土)に行った、「CS(コミュニティースクール)の日、オータム交竜会」では、各小学校区で、「小学生・中学生・CS委員・見守りボランティアの方等」での登校、そして中2生徒がリードしての各地区の登下校や安全に関する防災学習を行いました。竜北中学校でもそれぞれの地区に分かれて本日の活動の振り返りをCS委員さんを入れて頂き、行うことができました。西部小、東小、竜中のCS委員さんが何度も熟議し、今回の活動を計画・実践して頂き、たいへんありがとうございました。中学生は昔の自分たちを思い出し、小学生は中学生の背中を見ながら、きっと健やかで郷土愛あふれる姿に成長してくれることだと感じました。また、防災の意識も高まり、命を守る行動につながるものと確信します。

手づくりマスク、頂きました！

婦人会の皆さんの可愛い、手づくりマスクです。ありがとうございました。



頑張れ 氷川の花農家

氷川は10月、新型コロナウイルスで需要が落ち込んでいる町の花農家を支援する「花いっぱいプロジェクト」を始めた。町が花を買い取り、町内の公共施設や福祉施設などに飾りつける。

町にすると、町内には1戸がタリヤとトルコキョウ、マリゴールドを栽培。花を大量に使う冠婚葬祭の催事の贈り物や相場、価格が低迷していることで町がプロジェクトを企画した。来年度まで月2回実施。各施設担当者に町役場に来てもらい、1回あたり1施設に切り花100本を配る。現在、56施設が参加している。町の購入費7.2万円は、国の地方創生臨時交付金を活用する。

同町でトルコキョウを栽培する宮和正さん(57)は、「コロナ禍で、花から野菜栽培に転じた農家もある。今後不安定な中、支援は本当に心強い」と感謝。花を受け取った浄土寺保育園(同町鹿嶋)の保育士、青木優子さんは「子どもたちは花摘みが好きで、植物に興味いっぱい、喜ぶ思い」と笑顔で車に運びこんでいた。(元村 彰)



町役場に集められた色とりどりの花を運ぶ施設関係者ら。氷川町



学校にも届きました！

竜北中学校CS 花いっぱい運動も進行(成長)中！

11月10日には、竜北中学校CSによる花いっぱい運動の第二弾として、2年生が、1年生が種を蒔いて発芽した花の苗をポットに移植する作業を行いました。宮村CSや古閑コーディネータと一緒に楽しく活動しました。たくさんの花が咲いて、多くの人に笑顔をお届けができると思います。大変、お世話になります。

また、11月のあいさつ運動もCS委員の方、また各地区の保護者の皆様、ありがとうございました。朝夕の冷え込みや暗い中での登校や自転車乗車中の



事故やトラブルには十分注意したいものです。いつも地域の方の見守りには感謝いたします。今後もよろしくお願いします。



⇒竜北中学校ホームページ <http://jh.higo.ed.jp/ryuhoku/> ぜひご覧ください！